

## 小道を抜けたら広がる世界

船橋市内の児童が、地元で伝わる民話「雪どけ塚の白へび」をテーマに取材や写真撮影など新聞制作に挑戦した。日本財団などオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」の一環で、国内に残された海にまつわる「民話」伝承を選定し、子どもがさらに次世代へと伝える機運醸成を狙っている。船橋市立船橋小学校6年の有賀那奈花さんが執筆した紙面を紹介する。

### 民話の舞台 裏山に

船橋市に伝わる民話「雪のお墓の中を抜けて、そ 本健全さんによると夏見城 解け塚の白へび」の舞台の場所に辿り着くと木々との遺跡の跡地であるとい う。敵の侵入を防ぐ土塁と 寺」の裏山にある。たぐさ 市教育委員会文化課の坂 いう壁の跡があること、



かつて白へびがいた松の木があったとされる場所



長福寺の石像

城があったことが判明し た。城主は夏見政芳。 永禄年間(1558年) 船橋市内で唯一誰の も 1569年)にこの地を治 めていた。寺の聖観世音菩 薩像に名前が記されていた ことから分かったという。 聖観世音菩薩は市の指定文 化財になっており、50年に 1度しか見る事の出来な い秘仏である。 裏山は村の人々がお祈り をしていた場所でもあり、 その奥へと進むと雪解け塚 があってとされる場所が確 認できた。しかし、民話の へびがいたとされる松の木 はもうなかった。 あったのか、なくなった のかもわからないそうだ。 へびの痕跡は見つけられ なかったが、たぐささんの石 像があり、市の歴史を感じ られる昔話のような空間 だった。



船橋市の中央を流れる「海老川」

### 船橋という町 海老川と共に

船橋に流れる大きな川 海老を献上したことが由来 「海老川」。船橋の地に訪れ である。海老川には13の橋 がある。 た源頼朝がこの川で取れた

上流から2本目の「八千代橋」は漁業、豊漁をテーマにしており、魚と波をモチーフにした模様が彫ってある。 民話の白へびは灯台の役目を果たしていたとい う。上流から3本目の海老川橋から程近いところには船橋大神宮の「灯明台」がある。 町を散策してみると、あちこちに民話の世界が感じられる。春は川沿いに500本の桜が咲き誇る。海老川十三橋めぐりを楽しみながら、民話と桜の素晴らしさを感じてほしい。



民話「雪解け塚の白へび」に登場する白へび

### 白へびは幸運のシンボル

#### 果たして何者か

日本では古くから蛇そのものが神聖視 されていて、稲作文化と深く関わる「水 の神」や「豊穡の象徴」として崇められ てきた。 白へびと特に深い関係を持つとされて いるのが、七福神の「柱」弁財天」。芸 術・学問・財運・縁結びを司る神様とし て古くから信仰されている。その使いが 「白へび」である。 白へび自体は実在していて、アルビノ (先天的な色素欠乏) によって体が白く なった蛇である。 白へびを祀っている神社も多く、山口 県岩国市の「岩国白蛇神社」もその一つ である。 昔から「蛇の抜け殻を財布に入れると お金が貯まる」といふ言い伝えがあり、 抜け殻は幸運アイテムにもなる。 白へびは昔と変わらず現代でも信仰さ れている。

#### 編集後記

#### 船橋の魅力、再発見

船橋市立船橋小学校6年 有賀 那奈花さん

船橋に民話があること 自体知りませんでした。 白へびがいた場所が身近 にあって、びっくりしま した。 またまた船橋について 知らないことが多いんだ など感じました。大きな お店があったり、でも漁 業も盛んだったりと色ん な顔を持つ船橋について また調べてみたいと思っ ました。

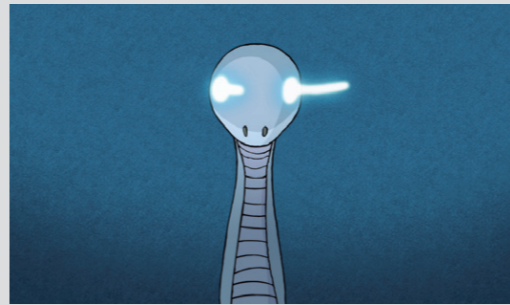


有賀那奈花さん



#### 海と日本プロジェクト

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進している。



「雪どけ塚の白へび」のワンシーン

#### 雪どけ塚の白へび

昔、夏見城を囲む土塁の近くに「雪どけ塚」と呼ばれる不思議な小高い塚があった。松の木の根元の穴に住む白へびは夜になると姿を現し、光る目の美しさと、やさしく気品のあるたぐさまいで村人を魅了していた。ある日、出漁していた漁師が嵐に遭い、沖に流された。遠方に見つけた青い光を白へびの目だと信じて死に物ぐるいでかいをこぎ続けた…。

